



SHINOBU TAKAHASHI

オーストリア伝統工芸作家

高橋 忍さん

(オーストリア伝統工芸教室 東北支部講師)

フラワークラフト アイカム
由利本荘市鳥海町猿倉字奥山前8-45
(ホテル フォレスト鳥海内)
TEL.0184-58-2350
http://ameblo.jp/aikamu87/

アイカム教室 / 秋田市、由利本荘市、弘前市、盛岡市、仙台市で開催



ザルツブルガーゲビンデ

伝統の輝きを、より美しく



クロスターアルバイテン

聖画を彩る、金とスワロフスキービーズ、パールの装飾。
細いワイヤーを編んで組み合わせて、金の花で埋め尽くす。

クロスターアルバイテンは、オーストリアの伝統工芸。ドイツ語で「クロスター」は修道院、「アルバイテン」は「手仕事」を意味し、15〜16世紀に修道女の内職として普及した。レースのようなこの細密な装飾は、純度98%の金・銀のワイヤーでパーツを作り、組み立てたもの。ビーズやパールを飾り、華やかに仕上げる。

高橋さんはこの工芸の東北初となるインストラクター。東北各地で教室を開いて指導している。

ほかにも、オーストリアの伝統工芸をさまざま制作、指導する。自身、「特に好き」と話す「ザルツブルガーゲビンデ」は、ザルツブルグ地方の伝統工芸。現地ではラッキーアイテムとして親しまれている。材料は、クロブ、シナモン、スターアニス(八角)、カラマツ、ブナなどの木の実にスパイス。作品を前にするとスパイスの甘い香りがかすかに漂う。

高橋さんの工房兼ギャラリー「フラワークラフト アイカム」は、鳥海山を望むホテルフォレスト鳥海内にある。周囲には美しい森が広がり、材料となるブナの実も豊富にある。「ゲビンデ」の魅力は、落ちてくる小さな木の実を「主役」として輝かせることができる



こと。何より自然の恵みに触れることで癒やされます」

作品の種類はさらに幅広い。押し花、ドライフラワー、ビーズ、プリザーブドフラワーに加え、ワイヤーに糸を張って花びらを作る「シェーネブルメン」や、独自に考案した「ヨーロッパアンリボンアレンジメント」なども手掛ける。最近では、日本の伝統的な刺しゅう糸を取り入れた新たな作風にも挑戦している。「伝統工芸をベースに自由に自分らしく表現する。それが楽しい」

新たな工芸を秋田から東北へ。もが広がって